

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	K.S	学部・学科	国際教養学部 国際教養学科
学年	4年	派遣国	韓国
派遣大学	仁川大学		
期間	2022年8月24日～2023年2月1日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / <u>学外の学生寮</u> / アパート / その他 ()					
部屋	<u>個室</u> / 2人部屋 / 3人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	○	シャワー	○	洗面所	○
	キッチン	◎	冷暖房	○	冷蔵庫	○
滞在費	約 (76,500) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (5) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	45,000 円	昼食平均 500 円、夕食平均 1000 円
学用品購入費	3000 円	教科書代など
交通費	9500 円	バス代、電車代
交際費	20000 円	友人との遊び、飲み会など
その他	10000 円	洋服代など
合計	87,500 円	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

治安は日本とほとんど変わらなかったです。大学の回りは大学生とファミリー層が多かったです。特に危険な場所はありませんでしたが、夜遅くは大学内が暗いので若干の怖さがありました。ソウル方面も、主要な観光地では日本語が話せる人が多いようなので、困ったことがあってもある程度は安心かなと思います。ただ、繁華街の細い路地に入るとたばこの吸い殻が多かったり柄の悪めな人がいたりするので気をつける必要があります。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(5) ヶ月間	保険料	(60,580) 円

現地の国/大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	() ヶ月間	保険料	() 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市/町 (仁川広域市・松島)

仁川広域市は韓国の北西部に位置しており、韓国を代表する空港である仁川国際空港がある都市です。その他の主な観光地としては、歴史的建造物や博物館などがある江華島(カンファド)、マイランドをはじめとした遊園地や海鮮が有名な月尾島(ウォルミド)、仁川開港の際に日本と中国から移住してきた人々によって発展した仁川チャイナタウン、駅地下や地上の通りでショッピングや食べ歩きが楽しめる富平(プピョン)などがあります。

仁川大学があるのは松島(ソンド)という国際都市で、仁川空港から車で30分ほどのところにあります。都市の名の通り色々な国籍の人が住んでおり、埋め立てによって計画的に開発された比較的新しい都市です。そのため街中にはビルが多く、道路も広く直線的に造られているというのが特徴です。トリプルストリートという大型ショッピングセンターやコストコがあり、海洋警察庁近くや仁川大入口駅近くのタイムスペースなどには飲食店が多くあります。ソウルのような大都市まで行かなくても、松島内だけで十分に生活が楽しめます。ただ、物価が高いところがやや欠点です。韓国内全体の物価高も一因ですが、スーパーでキャベツ一玉が600円で売られていたことがあり、大変衝撃を受けました。

【学業編】

1. 大学情報

大学	仁川大学	所在地	仁川広域市延寿区松島洞
最寄空港	仁川国際空港	空港からの距離	車で 30 分
空港⇄大学	(タクシー、バス、電車) *移動手段		
学生数	1.1 万人	留学生数	100~200 人
学部	<p>※韓国の大学では、日本の大学の学部にあたる部分を「大学」と表します。</p> <p>人文大学 自然科学大学 社会科学大学 グローバル法政経大学 工科大学 情報技術大学 経営大学 芸術体育大学 師範大学 都市科学大学 生命科学技術大学 東北アジア国際通商学部</p> <p>*留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。</p>		
学部/専攻	<p>東北アジア国際通商学部</p> <p>*留学中に所属した学部/専攻を記載してください。</p>		

2. 週間スケジュール

① (9)月～(12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	・4級韓国語練習(1) 9:00-11:45	・初級日本語会話 9:00-10:50 ・日本語作文と読解 11:00-12:50		・4級韓国語(1) 9:00-11:45 ・ギター演奏エリート入門 12:00-14:00	
午後	・韓国語の理解 13:30-16:15 ・日本サブカルチャーの理解 16:30-17:45	・チュータリング 13:40-14:40 ・日本サブカルチャーの理解 15:00-16:15	・韓中日比較理解 15:00-16:45 ・漢字スタディ 18:30-19:30	・韓国語文化入門(1) 15:00-16:45	・初級日本語会話 14:00-14:50 ・韓国文化のニューウェーブ 15:00-16:30 ・日本語作文と読解 16:40-17:50

週間スケジュール補足

- ・日本サブカルチャーの理解、初級日本語会話、日本語作文と読解は履修ではなく聴講です。
- ・火曜日のチュータリング、水曜日の漢字スタディは授業ではなく自習です。
- ・金曜日は、初級日本語会話の授業を途中退出し韓国文化のニューウェーブを受講、授業が終わり次第日本語作文と読解の授業に途中参加というスケジュールでした。

3. 履修内容

科目	4級韓国語練習(1)		
履修期間	9/5-12/12	単位数	3
授業内容/形態	4級韓国語練習(1)・韓国語の理解・4級韓国語(1)・韓国語文化入門(1)の4つでセットの授業です。共通の教科書を使用して、1単元を3回に分けて勉強しました。それぞれの内容は①語彙・文法1・会話②文法2・読解・会話③聞き取り・会話・読解・作文でした。		
成績	A0		
YCU 振替予定	科目	特講(国際教養学部留学科目 D)	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	韓国語の理解		
履修期間	9/5-12/12	単位数	3
授業内容／形態	4級韓国語練習(1)・韓国語の理解・4級韓国語(1)・韓国語文化入門(1)の4つでセットの授業です。共通の教科書を使用して、1単元を3回に分けて勉強しました。それぞれの内容は①語彙・文法1・会話②文法2・読解・会話③聞き取り・会話・読解・作文でした。		
成績	A+		
YCU 振替予定	科目	特講(国際教養学部留学科目 A)	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	4級韓国語(1)		
履修期間	9/8-12/8	単位数	3
授業内容／形態	4級韓国語練習(1)・韓国語の理解・4級韓国語(1)・韓国語文化入門(1)の4つでセットの授業です。共通の教科書を使用して、1単元を3回に分けて勉強しました。それぞれの内容は①語彙・文法1・会話②文法2・読解・会話③聞き取り・会話・読解・作文でした。		
成績	A0		
YCU 振替予定	科目	特講(国際教養学部留学科目 B)	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	韓国語文化入門(1)		
履修期間	9/8-12/8	単位数	3
授業内容／形態	4級韓国語練習(1)・韓国語の理解・4級韓国語(1)・韓国語文化入門(1)の4つでセットの授業です。共通の教科書を使用して、1単元を3回に分けて勉強しました。それぞれの内容は①語彙・文法1・会話②文法2・読解・会話③聞き取り・会話・読解・作文でした。		
成績	A0		
YCU 振替予定	科目	特講(国際教養学部留学科目 C)	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	ギター演奏エリート入門		
履修期間	9/8-12/8	単位数	1
授業内容／形態	授業冒頭 5 分で基礎的な音楽理論を勉強します。その後はギターのコードや曲を、先生の見本を見ながら練習します。中間試験は音楽理論に関する筆記試験と実技試験でした。期末試験は実技試験のみでした。		
成績	A+		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	韓国文化のニューウェーブ		
履修期間	9/9-12/9	単位数	3
授業内容／形態	英語で行われる授業です。韓国の文化を 1970 年代頃から現代まで映像を見ながら順に学んでいきます。本来は 15:00-17:45 の授業ですが、基本的に 16 時から 16 時半の間に終わっていました。試験は中間・期末共にレポートでした。		
成績	A+		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	日本サブカルチャーの理解		
履修期間	9/6-12/14	単位数	-
授業内容／形態	日本のサブカルチャー全般について学びます。ゴジラや鬼滅の刃、渋谷・原宿文化や紅白歌合戦などが題材として使われていました。基本的に先生が講義をする形でしたが、生徒の考えを聞く場面も多かったです。試験は中間・期末共にレポートでした。		
成績	-		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	初級日本語会話		
履修期間	9/13-12/16	単位数	-
授業内容／形態	教科書の単元に沿って日本語の文法や表現を学ぶ授業です。先生は日本人ですが、授業は韓国語で行われます。座学での授業でしたが、静かに講義を聞くというよりは、先生と生徒がフランクに雑談をしながら授業をするスタイルでした。ネイティブなので試験はありません。		
成績	-		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	日本語作文と読解		
履修期間	9/13-12/16	単位数	-
授業内容／形態	この授業は初級日本語会話のすぐ後の時間にあっただけで、教科書が変わるだけで授業同士の切り替わりはそんなにはっきりしていませんでした。文法を学び、その文法を使って作文をし、発表するというのが主な流れです。ネイティブなのでこの授業も試験はありません。		
成績	-		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	韓中日比較理解		
履修期間	9/7-10/5	単位数	3
授業内容／形態	事前に出された課題に対するレポートを書き、授業中はそれを発表するのがメインでした。履修登録はしましたが、何回か授業を受けてみて私にとってはあまり有意義ではなかったので1ヶ月ほどで辞退することにしました。		
成績	F		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

イニシャル	K・S	学部・学科	国際教養学部 国際教養学科
学 年	4 年	派遣国	韓国
派遣大学	仁川大学		
期 間	2022 年 8 月 24 日～2023 年 2 月 1 日		
プログラム	交換留学プログラム		

< 留学先大学での履修内容 >

科目	4 級韓国語(4 科目)
講義内容	4 級韓国語練習(1)・韓国語の理解・4 級韓国語(1)・韓国語文化入門(1)の 4 つでセットの授業です。共通の教科書を使用して、1 単元を 3 回に分けて勉強しました。それぞれの内容は①語彙・文法 1・会話②文法 2・読解・会話③聞き取り・会話・読解・作文でした。
科目	ギター演奏エリート入門
講義内容	授業冒頭 5 分で基礎的な音楽理論を勉強します。その後はギターのコードや曲を、先生の見本を見ながら練習します。中間試験は音楽理論に関する筆記試験と実技試験でした。期末試験は実技試験のみでした。
科目	韓国文化のニューウェーブ
講義内容	英語で行われる授業です。韓国の文化を 1970 年代頃から現代まで映像を見ながら順に学んでいきます。本来は 15:00-17:45 の授業ですが、基本的に 16 時から 16 時半の間に終わっていました。試験は中間・期末共にレポートでした。
科目	日本語授業(2 科目)
講義内容	教科書の単元に沿って日本語の文法や表現を学ぶ授業です。先生は日本人ですが、授業は韓国語で行われます。座学での授業でしたが、静かに講義を聞くというよりは、先生と生徒がフランクに韓国語で雑談をしながら会話・作文練習をするスタイルでした。ネイティブなので試験はありません。
科目	日本サブカルチャーの理解
講義内容	日本のサブカルチャー全般について学びます。ゴジラや鬼滅の刃、渋谷・原宿文化や紅白歌合戦などが題材として使われていました。基本的に先生が講義をする形でしたが、生徒の考えを聞く場面も多かったです。試験は中間・期末共にレポートでした。

<総括>

(1) 全体的な感想 *留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800字以上)

4年後期での留学だったので、留年必至ということもあって迷いもありましたが、本当に行って良かったなと思います。YCUで開講されている韓国語の授業は全て履修済みでしたが、それだけでは全然足りていなかったということを感じました。仁川大学で開講されている韓国語の授業はもちろん、それ以外の部分からも非常に多くのものを得ました。

留学前に一番心配していたことは学校内で友達を作れるかどうかでした。私は学外寮の1人部屋を選択したため、ルームメイトがいない状態で、どうやって現地の学生達との接点を持つかが課題であり不安でした。

半年しかない上に知り合いもいないということで、とにかく社交的・活動的に毎日を過ごすように心がけました。留学生オリエンテーションで目に付いた人全員に話しかけてみたり、履修だけではなく聴講もしてみたり、会ったことのない人を含む集団で遊びに行ったり……。日本にいた頃の私なら絶対にしないようなことばかりしました。その結果、想像もしていなかったほど多くの友達に出会い、とても充実した半年間を過ごすことができました。自分なりに考えて努力したことがうまく結果に結びついたのでとても満足しています。

学習面に関しても、大変満足しています。韓国語の授業は週に4回あったので、飽きるくらいみっちり韓国語を学びました。ひとつ上のクラスを受けるか迷って結局辞めてしまったので、もしひとつ上のクラスを選択していたらどうなっていたかなと考えることはあります。しかし色々な国から来た友達と出会えたり、つまづくことなく余裕を持って授業に参加できたりしたのは自分にとって良いことでした。

私はおそらく例年の留学生よりも多く授業に参加したと思うのですが、それに関してもやって良かったなと感じています。やはり色々な授業に参加することで友達も増えますし、YCUでは開講されていない授業を受けられるというのは留学の醍醐味であると思うからです。時間割はかなり忙しかった分、たくさんの知識と経験を得ることが出来ました。

「留学と言えば英語圏、交換留学と言えば一年間」というようなイメージを持つ人が多い中で韓国に半年間のみの留学をしましたが、自信を持って人に話せるほどに、自分の人生の中で一番濃く有意義な半年間を過ごしました。自分の能力や持ち味を最大限に活かして、大変満足いく留学生活を送ることが出来ましたし、そのような留学生活が送れるよう行動した自分を誇りに思います。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400字以上)

まず、韓国語の勉強に関する展望です。私は現在「ハングル」検定3級、TOPI4級を保有しています。2023年1月末に韓国のみで行われるTOPIKを受験するために留学期間を延長したものの、直前でコロナウイルスに感染してしまい、受験できずに帰国しました。そのため、まずは直近の試験である2023年7月のTOPIKを今度こそ受験し、最上級である6級の取得を目指します。その後もより高度な韓国語の習得を目標に勉強を続け、将来的には翻訳や通訳を仕事に出来るレベルまで極めたいと考えています。

次に、留學生活を通して得た経験についてです。留學を通して身に着けたものは圧倒的に社交性だと考えています。私は基本的に1人でいることが好きで、大学でもバイト先でもあまり積極的に周りの人と交流をしない方だという自覚があります。しかし、留學中の行動を通して社交的に人と関わることもやれば出来るということに気づきました。これから就職をして企業という集団の中で社会生活を送りますが、そのときにこの経験と気づきを活かして、同僚達と上手くコミュニケーションを取っていこうと思います。

(3) 後輩へのアドバイス *留學を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400字以上)

この文章を読んでくれている人の中には、既に留學を決意した人もいれば迷っている人もいます。そんな人達に留學に関係なく私が伝えたいのは、「やりたいことは全部やった方が良い」ということです。もちろんやりたいからといって何でもやれるわけではありません。時間やお金が原因で諦めざるを得ないこともあり、留學はその最も代表的な例だと思います。やりたくてもやれないこともある中で、やりたい上にやれることがあるなら、とりあえず一歩踏み出してみるべきだと思います。やってみてダメだったら諦めたり他のやり方を考えたりすればいいので、まずは小さなことからでも行動に移してみることをオススメします。

また、留學には困難がつきものです。私は出国前の準備が一番の困難でした。留學を決めた後には、出願やビザの取得など様々な手続きがあり、それに伴うトラブルももちろんあります。手続きもトラブルも始めてのことばかりでパニックになってしまうこともあります。落ち着いてひとつずつ対処していきましょう。YCUのプログラムを通して留學に行くのであれば、自分以外に同じ大学・地域に留學に行く生徒達と連絡を取り合っ、お互いに助け合いながら準備を進めていくと良いと思います。

海外に長期間行くというのは人生の中で大きな出来事なので、これから色々な悩みや壁に出会うと思います。決して無理しすぎることなく、自分のペースで、出来ることから挑戦してみてください。応援しています！